

アソカ講話074

テーマ「自分を知る」

どうも世の中様々なことを見聞きするにつけ、自分を知ることは意外と難しいものだと感じる。自己評価と他者評価の違いを知らない人が多い。自分と周囲との認識でどこがずれているか気づいていないのだ。それが他者を傷つけないものならいいのだが、自分の言動の意味に気づかないで悪気なく、いやむしろ良いことと思いうことが、相手の感情を害し、意欲を下げてしまう事になるとしたら惜しいことだと思う。

やはり、己を知るためには、謙虚でなければならないようだ。

自分が正しいと思いこんでいると、自分が事実確認を十分していないことに気づかない。たまたま一場面だけを見て、評価している自分に気づかない。その結果、周囲の「声にならない声」を感じ取ることができなくなる。

謙虚であれば、「自分の発した言葉で相手の表情がどう変わるか」、に気づき自分自身の不足している部分を知ることができるだろう。人は完璧ではない、自分にも間違いが多くあるという前提を持ち謙虚な気持ちでいれば、良いこともできていないことも含めて現在の自分の姿を知ることができる。謙虚さは決して失ってはいけない。